

特別展

運慶

鎌倉幕府と靈驗伝説

重要文化財 梵天立像 正治三年（一二〇二） 滝山寺（愛知） 運慶・湛慶合作とされる源頼朝供養像

（撮影 井上久美子氏）

最新の研究成果から大仏師運慶を読み解く
重要文化財指定記念公開曹源寺十二神将像

平成30年1月13日（土）～3月11日（日）

【開館時間】午前9時～午後4時30分（入館は閉館の30分前まで）

【休館日】月曜日（但し2月12日〔月祝〕は除く）、2月13日（火）

【主 催】神奈川県立金沢文庫／朝日新聞社／文化庁

【特別協力】鎌倉国宝館／東北大学文学研究科東洋・日本美術史研究室／

名古屋大学人文学研究科人類文化遺産テキスト学研究センター

【後 援】横須賀市教育委員会

神奈川県立金沢文庫

特別展

運慶

鎌倉幕府と
靈験伝説

平成30年1月13日(土)~3月11日(日)

運慶は日本を代表する仏師です。本展示は運慶と鎌倉幕府との関係や、運慶仏が靈験あらたかなものとして信仰されたことに注目して、関連作品をご紹介します。平成23年春の金沢文庫、同29年秋の東京国立博物館の「運慶展」に続き、本展示をご覧になることで運慶の全貌が明らかとなるでしょう。

※本展覧会は東京国立博物館「運慶展」(平成29年9月26日~11月26日)と協力しながら、異なる内容で開催いたします。
※◎印は重要文化財。文化財保護のため会期中一部展示替があります。詳しくはホームページをご確認ください。

■再発見 運慶作の舞楽面



◎大威徳明王像 運慶作 光明院(神奈川)
源実朝ゆかりの最晩年作(建保四年・1216)



◎大日如来坐像 光得寺(栃木)
足利義兼発願で運慶作の可能性高い



◎十二神将立像(巳神) 曹源寺(神奈川)
運慶・源実朝・三浦氏ゆかりの群像を一堂に



毘沙門天立像 清雲寺(神奈川)
運慶工房作の和田義盛ゆかりの靈験仏



◎陵王面 瀬戸神社(神奈川)
運慶作の四天王像の意匠と共通する



不動明王立像 仏法紹隆寺(長野)
運慶作説がある近年注目の作品



◎抜頭面 運慶作 建保七年(1219) 瀬戸神社



十二神将立像(戌神) 鎌倉国宝館
北条義時を救った運慶作の像の姿を伝える



◎類焼阿弥陀縁起絵巻 光触寺(神奈川)
最古の運慶の姿が描かれる絵巻



◎阿弥陀如来立像 光触寺(神奈川)
伝運慶作として著名な靈験あらたかな秘仏

【シンポジウム・講演会・講座】

特別展「運慶」に関連して、シンポジウム・特別講演会・連続講座・関連月例講座もあわせて開催します。詳細は後日ご案内いたします。金沢文庫HPをご覧ください。

【観覧料】()内は20名以上の団体料金

20歳以上	800円(700円)
20歳未満・学生	600円(500円)
65歳以上	200円(100円)

高校生100円、中学生以下・障害者の方は無料。

神奈川県立金沢文庫

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142
TEL:045-701-9069 FAX:045-788-1060
<http://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm>



【交通】京浜急行「金沢文庫駅」東口より徒歩12分
(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)
シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分
(JR根岸線「新杉田駅」接続)

予 告

特別展 十二神将
修理完成記念特別公開
平成30年3月16日(金)~5月6日(日)



◎阿弥陀如来坐像 宗慶作(保寧寺(埼玉))
建久七年(1196)の三尊と不動明王を一堂に



◎大日如来坐像 実慶作(修禪寺(静岡))
承元四年(1210)源頼家供養のため夫人が造立



◎地藏菩薩坐像 康慶作(瑞林寺(静岡))
治承元年(1177)東国武士のために造像か